

【施策評価調査】

施策名	1-2-2	主要幹線道路の整備促進		74	施策目的 利便性の高い道路網の実現を目指して、地域高規格道路*（国道408号）、県道北高根沢氏家線の延伸、県道花岡狭間田線など主要幹線道路の工事着工を関係機関に要請します。
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当	都市整備担当		施策内容 利便性の高い道路網の実現を目指して、地域高規格道路*（国道408号）、県道北高根沢氏家線の延伸、県道花岡狭間田線など主要幹線道路の工事着工を関係機関に要請します。（※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）
環境変化		リーダー	阿久津 径行		

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①：主要幹線道路整備進捗率(%)	平成16年度までの整備進捗率 (国・県道11路線中8路線が完成) 72.7%	計画	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	81.8%
		実績	→ 72.70%	→ 72.70%	→ 72.70%	→ 72.70%	
指標②：走行時間の短縮(%)		計画					
		実績					
指標③：		計画					
		実績					
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	99,000	99,000	99,000	90,000	
	決算	98,440	99,080	96,070	70,000	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
①主要幹線道路要望事業費	当初 90,000	要望路線数	A	要望3路線については、事業に着手されていることから利便性の高い道路網の整備が図られた。今後は、県等に対して引き続き要望を行っていくこととするが、政策経費でなく経常経費の中で事業活動を行うこととする。			
	決算 70,000	3路線 / 3路線		今後の方向性(自己評価)	廃止	今後の方向性(総合評価)	廃止
②	当初			今後の方向性(自己評価)			
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初			今後の方向性(自己評価)			
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初			今後の方向性(自己評価)			
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初			今後の方向性(自己評価)			
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	国道408号の進捗状況により、広域的な幹線道路のネットワークの構築が早期に図れる。	幹線道路については、事業化がほぼなされたことから、今後も、県等に対して引き続き要望を行っていくこととするが、政策経費でなく経常経費の中で事業活動を行うこととする。
総合評価	県が主体となって整備する路線であり、事務事業も側面的な支援であることから、後期計画においては廃止施策として舵切りをすることを評価する。 今後は、整備することで町にとってどのような成果となるのか引き続き検証していき、関係機関とともに、住民に対して十分な説明できるような連携を図ること。	